



森の京都

Woodland Kyoto DMO

# 森の京都DMO

地域の魅力を引き出し、地域力を高めるための組織。

それが森の京都DMOです。

一般社団法人 森の京都地域振興社



・ もうひとつの京都 ・

# 「森の京都」の魅力を、 もっと知ってほしい。

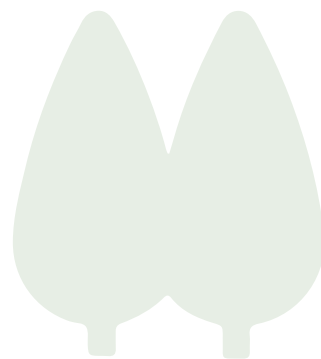
「もうひとつの京都」とは、京都府が進める  
古都京都だけではない京都の魅力を発信するプロジェクト。  
京都府北部の「海の京都」、中部の「森の京都」、  
南部の「お茶の京都」、乙訓地域の「竹の里・乙訓」をキーワードに、  
市町村の垣根を越えて地域の魅力を発信しています。





# 森の京都 DMOとは

About Woodland Kyoto DMO



「森の京都 DMO」は、  
森の京都エリアの総合プロデューサーとして、  
地域の魅力を引き出し、地域力を高めるための組織です。

森の京都 DMOは、観光を通じた地域活性化を目指し、京都府と府中部地域の5市町によって2017年に設立されました。観光地域づくりの中核、舵取り組織として、交流人口を拡大させるとともに、食をはじめ地域資源のブランド化を図り、地域の稼ぐ力を創出してまいります。

① Destination / ② Management・Marketing / ③ Organization

## ロゴマークのコンセプト Concept of logo mark

生命を育む源として、海の京都から都への文化の通り道として、京都の歴史や文化・豊かな暮らしを支えてきた森の景観を、抽象的造形で表象化。樹木や水源をたたえ多様な動植物を育む豊かな森と、四季の移ろいと共に暮らしを営む里に流れる凜とした空気感を、山を象った図形の中に印象的なシルエットで表現しています。



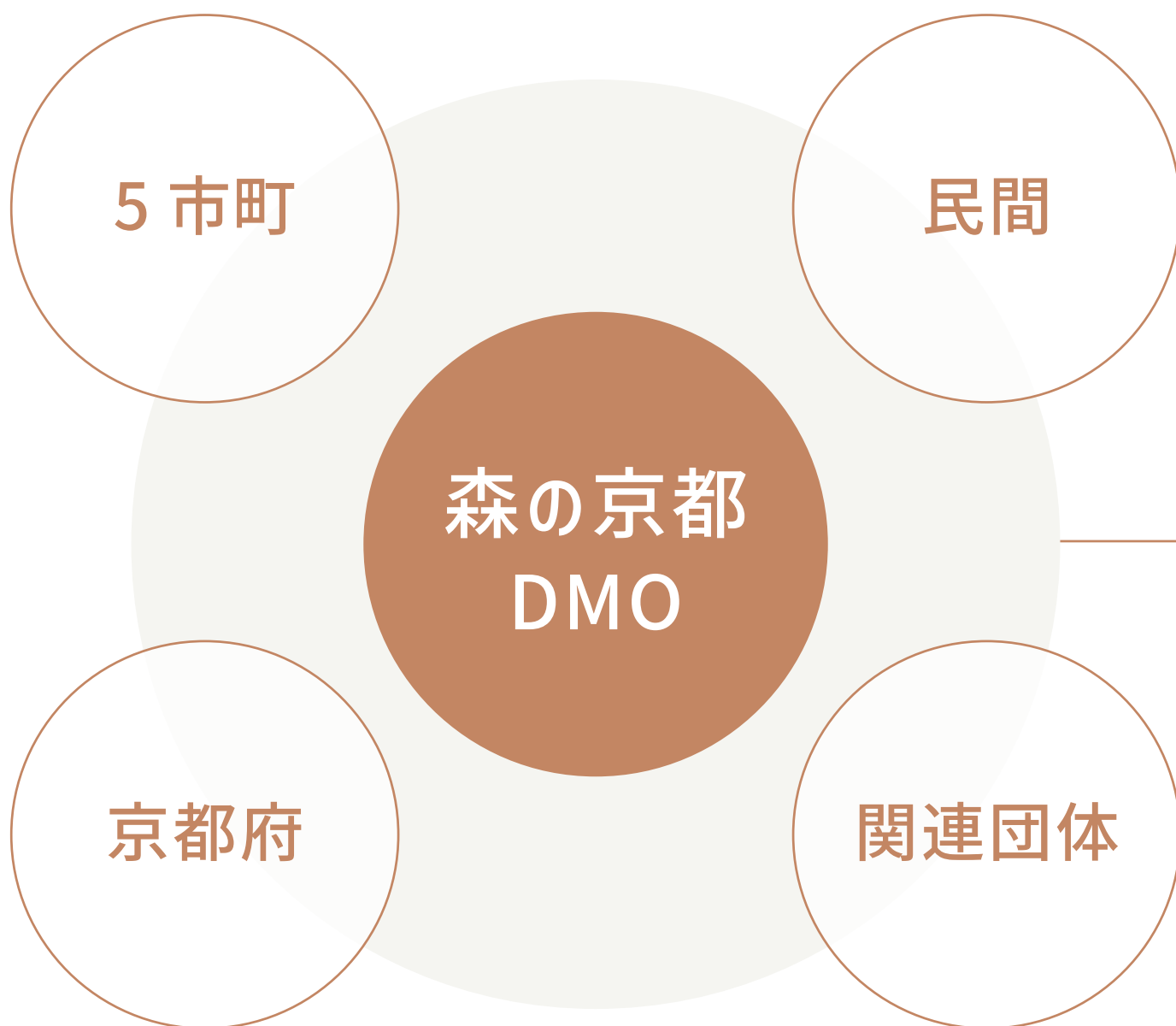
森の京都

This logo is an abstract representation of Kyoto's forests, a life nurturing resource that acts as a cultural pathway from Kyoto's seas to her city and, supported the people's enriched way of life, Kyoto's history and culture. Through the striking silhouette of a forest and village in the shape of a mountain, the logo is evocative of life in a village experiencing the seasonal transitions, and the abundant forests which boasts trees and water sources and a diverse array of flora and fauna.

# 事業構想・事業内容

Business Concepts and contents

「森の京都」の地域力を高める役割を果たします。



## 実施体制 [取締役会]

- 社長 押川 正大
- 取締役 行政、観光、農林、商工、交通分野等
- 監査役 金融機関
- 事務局 行政機関職員、民間企業社員の出向及び外部専門人材等

## マーケティング調査等による顧客拡大

- ・ 森の京都のファンづくり
- ・ マーケティングの展開による顧客の拡大
- ・ 観光客動向詳細調査

## 認知度向上に向けた取組強化

- ・ HPコンテンツの充実強化
- ・ デジタルマーケティング・SEO対策の充実強化
- ・ 森の京都 QRトレイン等による継続的な情報発信とイベントの展開
- ・ SNS 等を用いた戦略的な情報発信

## 地域開発推進事業

- ・ 歴史・文化に触れる旅等のコンテンツ開発・着地型商品造成
- ・ スポーツコミッションの推進
- ・ 海外に向けた情報発信等

## 中長期滞在者等受入体制・環境の整備推進

- ・ 移住先駆者情報の発信
- ・ 空き家、空き店舗等を活用した取組の推進
- ・ 教育体験旅行（教育民泊及び日帰り体験）による農山村の地域振興

## 地域の食を活用した観光地域づくりの推進

- ・ 地元産品の流通促進
- ・ 食に関わるコンテンツの磨き上げ・商品化
- ・ ジビエ・アユ等食・特産品のブランド化・販路開拓

## アクセス強化、二次交通誘客事業

- ・ 利便性の向上に向けた交通地域情報の発信
- ・ E-BIKE 実証事業

# 経営理念

Management philosophy

森の京都 DMO では、これからも豊かな自然や里山文化に支えられた地域資源の宝庫「森の京都」が、未来に向かって、希望と誇り、生きがいにあふれた元気な地域になることを目指し、経営理念を定めています。

We, the Woodland Kyoto DMO, aim and hold high hopes as we work towards the future, in encouragement of the development of our rich repository of natural regional resource "Woodland Kyoto", into a lively region overflowing with vigor. It is with this goal in mind that we establish our management philosophy.

## 森の京都地域振興社（森の京都 DMO）経営理念

Woodland Kyoto DMO management philosophy

1. 私たちは、森の京都地域に住まう人々の思いに寄り添いコミュニケーションを密にし、地域から頼られる組織になります。

We will make this an organization the region can rely on and work to develop communication that would bring us closer to the voices of the people living in the "Woodland Kyoto" area.

2. 私たちは、現地・現物・現認の三現主義と俯瞰的・横串的視点により枠を越えた連携とネットワークを築き、「森の京都ブランド」の地域力を高める総合プロデューサーの役割を果たします。

We will fulfill our parts as the overall producer in charge of promoting the "Woodland Kyoto Brand" as a regional brand by building a broad, comprehensive and inclusive network based on the "Three Realities Principle (Sangen Shugi Principle)" of going to the actual site (genchi), looking at the actual source product (genbutsu) and taking realistic action (gennin).

3. 私たちは、「健康」「癒し」「安心・安全」を丸ごと提供できる森の京都の魅力を知っていただき、訪れ、体感してもらえよう、国内外の人々に向けて情報を発信します。

We aim to transmit information domestically and internationally to convey Woodland Kyoto's appeal as an area that wholly offers "health," "healing" and "safety" so that visitors will visit and personally experience all the region has to offer for themselves.

# 会社概要

Corporation profile

|            |  |
|------------|--|
| 区域         | 京都府中部の 5 市町<br>(亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市)   |
| 設立         | 2017 年 3 月 21 日 事務所開設 2017 年 4 月 3 日   |
| 事務所        | 亀岡市追分町谷筋 25-30   |
| 社長         | 押川 正大  |
| 事務局        | 行政機関職員、民間企業社員の出向及び外部専門人材等  |
| 趣旨         | 観光を入り口とした持続可能な地域づくりの推進による関係人口の創出・拡大や、移住・定住促進及び地域商社として地域資源のブランド化を図り、森の京都地域全体の振興を図る。   |
| 基本<br>スキーム | <ul style="list-style-type: none"><li>- 京都府と市町の連携事業であり、DMO への財政及び人的支援は、府：市町＝1：1</li><li>- 民間的手法の導入（外部民間人材の積極的登用など）</li><li>- 安定的な運営資金の確保<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地方創生交付金の積極的活用</li><li>・ 収益事業の展開（旅行商品の造成・販売、予約サイトの運営）</li></ul></li></ul> |

【Area】 Kameoka-City, Natan-City, Kyotamba-Town, Fukuchiyama-City, Ayabe-City  
【Date Established】 March 21, 2017 【Office】 Kameoka-City Oiwake-cho Tanisuji 25-30  
【Representative】 Oshikawa, Seidai 【Office Staff】 Government officials, private company employees, and external experts 【Purpose】 ●To increase revenue in this area through branding regional resources as a local trading company ●To increase opportunities for exchange and interaction as part of a strategy to increase local tourism  
【Basic Scheme】 ●Kyoto Prefecture and municipalities split the financial support of the project evenly ●Introduce and employ nongovernmental methods ●Acquire stable operation funding